

養護教諭部会 実技研修会 終了報告

テーマ	安らげる保健室をめざして～初めての色彩心理～		
日時	令和 4年 8月 23日(火)		
会場	広葉交流センター「いこ～よ」		
講師	昆野 照美 氏 (肩書:) 色彩心理カウンセラー		
参加者	63 名		
研修会 の 様子		色彩の基本として、色の三属性(一つは色相で、色みや色合いのこと、一つは明度で明るさの度合いのこと、一つは彩度で鮮やかさの度合いのこと)について学びました。	
		塗り絵の実技では、二人の人間をオンとオフの自分に見立て着彩しました。その二人の人間の配色が対照的なものほど、ストレスを抱えており、同系の配色であるほど、オンとオフの差が少ないという読み解きでした。	
		お便りや表示の配色では、黒字に赤色の組み合わせはしてしまいがちであるが、色弱者にとっては、実は見えにくい配色であり、配慮が必要であることを学びました。	
		校内や保健室で心が安らげるような色彩配慮について、無機質にならないようにすることが重要で、クッションや観葉植物を配置すると良いということ、また、教員の衣服については暖色系の服装のほうが話しかけやすいということをお聞きし、印象的でした。	